

の利用, などについて放射光シーズ技術側から紹介したが, 9月18日には第2回放射光メディカル・バイオシンポジウムを物性研で開催し, がんセンター東病院の先生方から講演を頂くことになっている。具体的な共同研究を進めていこうというわけである。

なお, 講演の要旨, OHP集, 講演者の写真については, 当日中にまとめて製本・配布した。VUV/SX高輝度光源利用者懇談会としては高輝度光源計画の早期実現を目指して, メディカル・バイオ, 環境科学, 産学連携, ナノテクノロジーという分かりやすい分野に利用拡大を図っており, この7~10月に集中的にシンポジウムを開催している。10月には学振主催のスイスー日本二国間電子分光セミナー「高輝度放射光を利用した新物質のスペクトロスコピー」(代表世話人: 東大新領域藤森 淳教授) が日光で

開催されるが, VUV/SX高輝度光源利用者懇談会はこのセミナーを共催することになった。

いろんな機会をとらえて, このすばらしい高輝度光源をPRし, 研究の輪を広げていきたいと考えていますので, ご支援よろしく願いいたします。

まずはこのVUV/SX高輝度光源にPhoton FactoryやSPring-8のようなカッコいい名前(愛称)を付けたいと考え, 下記ホームページでWeb公募受付中です。

<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/sor/offer/>

また, VUV/SX高輝度光源利用者懇談会のホームページ  
<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/sor/vsx/community/>

からの応募も可能です。12月22日が締めきりで, 賞品も出ますから, 是非奮ってご応募下さい。

## 「平成12年度放射光産学連携セミナー」報告

東京大学大学院工学系研究科 尾嶋 正治 (VUV/SX高輝度光源利用者懇談会会長)

東京大学が柏新キャンパスに建設を予定している「VUV/SX高輝度光源」の利用拡大を図るため, VUV/SX高輝度光源利用者懇談会は各種シンポジウムを精力的に主催している。そのコンセプトは, 「新物質・新物性の研究」を中核とし, 展開ドメインとして1)メディカル・バイオ, 2)環境科学, 3)ナノテクノロジー, 4)産学連携を4本柱として位置づけた。また, 広く国際的支援体制のnetwork化も目指している。

今回は「産学連携」を大きなテーマに据えて, 平成12年7月19日に標記セミナーを開催した。主催はVUV/SX高輝度光源利用者懇談会で, 共催として東京大学新キャンパス等構想推進室産学連携WGにご援助頂き, 合計で71名の参加者と盛況なセミナーを開催することが出来た。場所は東大柏キャンパスの向かいにある東葛テクノプラザで, 3F会議室で開催した。セミナー終了時にはOHP集を製本して参加者に配布した。

プログラムは以下の通りである。

1. 「開会挨拶」福山秀敏(東大物性研所長)(写真1)
2. 「お隣さんの東大SORって?」神谷幸秀(物性研)(写真2)
3. 「電子分光で見える21世紀新材料」尾嶋正治(東大工)
4. 「X線が明かす半導体材料」古宮 聡(富士通研究所)
5. 「X線回折で分かった鉄鋼材料」高木康夫(曙ブレーキ中研:元新日鐵研究所)

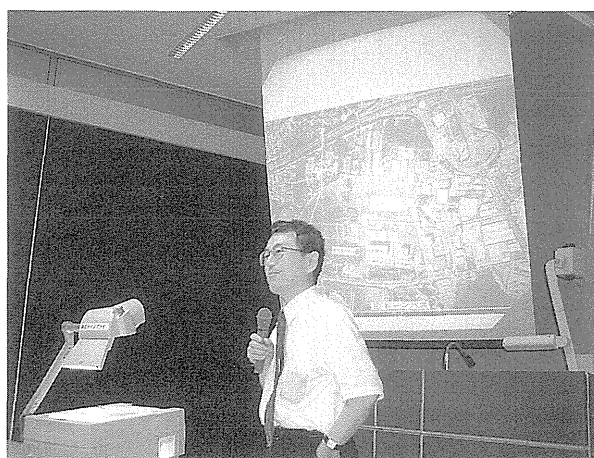


写真1 開会挨拶: 福山秀敏物性研所長

6. 「放射光が作るマイクロマシン」沼澤稔之(住友電工)
7. 「X線で観測するポリマー結晶化・配向の様子」雨宮慶幸(東大新領域), 笠原達也(住友化学)
8. 「ここまで分かった蛋白質の構造」五十嵐教之(物質構造科学研究所)
9. 「閉会挨拶」尾嶋正治(VUV/SX高輝度光源利用者懇談会会長)

懇親会@1F 懇親会ルーム

このセミナーでは, 高輝度放射光の産業利用に的を絞っ

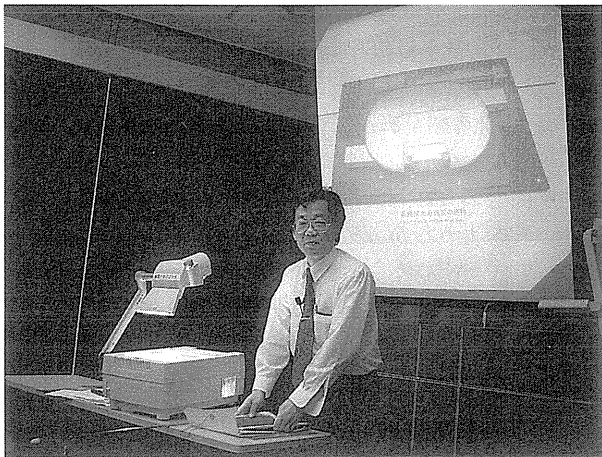


写真2 高輝度光源の説明を行う神谷秀幸施設長

て、エレクトロニクス、半導体、鉄鋼材料、微小機械、化学、医薬・蛋白質といった広範な産業分野における利用について議論を行った。いずれもユニークな放射光産業利用の展開が紹介されたが、当日集まった産業界の人にとってはもう一段階かみ砕いた話があった方がよかったという声も出された。さもありなんと思った。このギャップをいかに埋めるかが放射光産学連携の key to success であろう。

このセミナーが直ちに産学連携に結びつくとは思えないが、すでに物性研高輝度光源推進室で製作した放射光源用電磁石モデルの材料として使用している積層コア（珪素鋼板を接着剤で積層したもの）の加工や分析、強度試験などを東葛テクノプラザや周辺の地場企業でやってもらっており、地道な産学連携はもう始まっている。放射光を使った利用研究、分析サービスなどについても東葛テクノプラザ内の企業が関心を持っており、この辺の利用拡大、産学連携の展開もあり得ると思っている。なお、当日は柏市役所の方々の他に千葉県庁からも参加され、千葉県側の関心もかなり高いように見受けられた。

現在、VUV/SX 高輝度光源利用者懇談会としては上記コンセプトに基づき、7/12に国立がんセンター東病院で「放射光メディカル・バイオシンポジウム」、7/29に「放射光と環境科学研究会」を、8/22にはナノテクノロジー関連で「放射光ナノリンク合同ワークショップ」を開催した。いずれもその日のうちにOHP集を製本・配布した。9/18には第2回メディカル・バイオシンポジウムを開催する予定である。東京大学高輝度光源計画は残念ながらまだ文部省が予算を認めるところとなっていないが、全国共同利用と明確に位置づけられており、全国利用者の要望は極めて強いものがある。是非、この計画の早期実現を目指していきたい。